新役員に2氏を選任

3月に開催された理事会で、学校法人国士舘寄附行為第6条第1項第2号および第8条第1項により横沢民男氏が学校法人国士舘理事に、学校法人国士舘寄附行為第30条第1項第2号、第31条第1項および同施行規則第3条第1項第1号により表きよし氏が学校法人国士舘評議員に選任された。4月1日付で発令され、期間は横沢氏、表氏ともに令和2年5月31日まで。

横沢　民男（よこざわ・たみお）66歳。
昭和51年国士舘大学体育学部卒業。同53年同大学体育学部研究助手。同57年国士舘短期大学講師、同61年同短期大学助教授、平成6年同短期大学国文科長および学校法人国士舘評議員（3期）。同7年同短期大学教授。同14年から国士舘大学21世紀アジア学部教授。学生部副部長、21世紀アジア学部長を経て、現在は同29年から学校法人国士舘評議員、令和2年から同理事に在任。

表　きよし（おもて・きよし）61歳。
昭和57年早稲田大学教育学部卒業。同60年同大学学院文学研究科前期博士課程修了。文学修士（早稲田大学）。平成元年同後期博士課程単位取得満期退学。同年国士舘短期大学講師、同4年同短期大学助教授、同11年同短期大学教授。同14年から国士舘大学21世紀アジア学部教授。現在は令和2年から同大学21世紀アジア学部長、学校法人国士舘評議員に在任。

役職者紹介

4月1日現在の学部・研究科等役職者は次のとおり。【凡例】●役職名　氏名／所属学部・職名／年齢／専門／任期

●学長　兼　経営学研究科　研究科長　兼　経営学部　学部長　兼　武道・徳育研究所　所長
佐藤　圭一＝さとう・けいいち／政経学部・教授／64歳／アメリカ政治史／学長＝令和5・3・31まで、研究科長・学部長・武道・徳育研究所長＝令和4・3・31まで

●副学長　兼　国士舘史資料室　室長
飯田　昭夫＝いいだ・あきお／法学部・教授／69歳／知的財産法／副学長＝令和5・3・31まで、国士舘史資料室長＝令和3・3・31まで

●副学長　兼　学長室　室長
入澤　充＝いりさわ・みつる／法学部・教授／68歳／スポーツ法学、教育法学／副学長・学長室長＝令和5・3・31まで

●副学長　兼　スポーツ・システム研究科　研究科長
角田　直也＝つのだ・なおや／体育学部・教授／67歳／スポーツバイオメカニクス／副学長＝令和5・3・31まで、研究科長＝令和4・3・31まで

●副学長
長谷川　均＝はせがわ・ひとし／文学部・教授／66歳／自然地理学／副学長＝令和5・3・31まで

●政治学研究科　研究科長
平石　正美＝ひらいし・まさみ／政経学部・教授／63歳／行政学／令和4・3・31まで

●経済学研究科　研究科長
許　海珠＝きょ・かいじゅ／政経学部・教授／58歳／中国経済論、アジア経済論／令和4・3・31まで

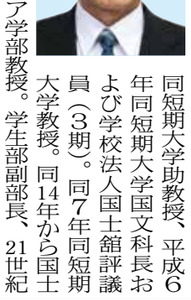
●救急システム研究科　研究科長
田中　秀治＝たなか・ひではる／体育学部・教授／61歳／救急医学／令和4・3・31まで

●工学研究科　研究科長
大浦　邦彦＝おおうら・くにひこ／理工学部・教授／51歳／モデリング、信号処理／令和4・3・31まで

●法学研究科　研究科長
森田　悦史＝もりた・よしふみ／法学部・教授／61歳／民法／令和4・3・31まで

●総合知的財産法学研究科　研究科長
三浦　正広＝みうら・まさひろ／法学部・教授／56歳／著作権法、著作者契約法／令和4・3・31まで

●人文科学研究科　研究科長
菱刈　晃夫＝ひしかり・てるお／文学部・教授／53歳／教育学／令和4・3・31まで



●グローバルアジア研究科　研究科長
小口　和美＝おぐち・かずみ／イラク古代文化研究所・教授／64歳／西アジア考古学／令和4・3・31まで

●政経学部　学部長
岩元　浩一＝いわもと・こういち／政経学部・教授／63歳／財政学、地方財政学／令和4・3・31まで

●体育学部　学部長
村岡　幸彦＝むらおか・ゆきひこ／体育学部・教授／67歳／外科学／令和4・3・31まで

●理工学部　学部長
本田　康裕＝ほんだ・やすひろ／理工学部・教授／65歳／機械力学、自動車工学／令和4・3・31まで

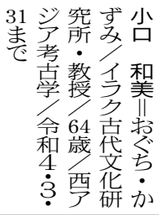
●法学部　学部長
飯塚　真＝いいづか・まこと／法学部・教授／56歳／民法、信託法、金融法／令和4・3・31まで

●文学部　学部長
中村　一夫＝なかむら・かずお／文学部・教授／58歳／日本語学／令和4・3・31まで

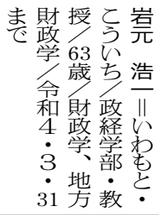
●21世紀アジア学部　学部長
表　きよし＝おもて・きよし／21世紀アジア学部・教授／61歳／日本文学／令和4・3・31まで

●イラク古代文化研究所　所長
小口　裕通＝おぐち・ひろみち／同研究所・教授／65歳／メソポタミア考古学／令和3・3・31まで

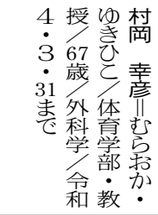
●防災・救急救助総合研究所　所長
畠崎　修次＝しまざき・しゅうじ／救急システム研究科・客員教授／79歳／救急医学／令和4・3・31まで



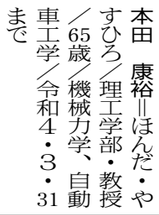
●生涯学習センター　センター長
村上　純一＝むらかみ・じゅんいち／文学部・教授／59歳／教育社会学、シティズンシップ／令和4・3・31まで



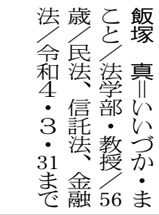
●ウエルネス・リサーチセンター　センター長
牧　亮＝まき・あきら／体育学部・教授／57歳／循環器内科学／令和4・3・31まで



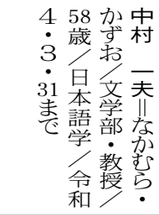
●教務部　部長
辰野　文理＝たつの・ぶんり／法学部・教授／59歳／犯罪学／令和5・3・31まで



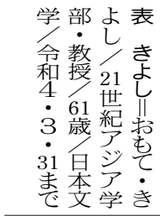
●学生部　部長
田原　淳子＝たはら・じゅんこ／体育学部・教授／57歳／スポーツ史／令和5・3・31まで



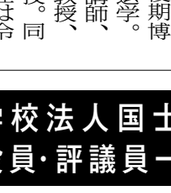
●キャリア形成支援センター　センター長
石見　豊＝いわみ・ゆたか／政経学部・教授／54歳／行政学／令和5・3・31まで



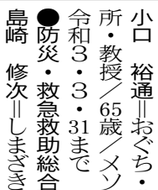
●国際交流センター　センター長
大髙　敏男＝おおたか・としお／理工学部・教授／55歳／熱工学／令和4・3・31まで



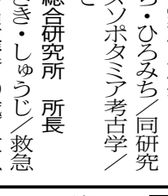
●図書館・情報メディアセンター　センター長
藤森　馨＝ふじもり・かおる／文学部・教授／62歳／図書館情報学／令和5・3・31まで



●国士舘高等学校・中学校　校長
岩渕　公一＝いわぶち・こういち／高等学校中学校・教諭／64歳／保健体育／令和3・3・31まで



●21世紀アジア学部　学部長
ジャクファル・イドルス／21世紀アジア学科／講師／政治学・アジア地域研究
佐野　実＝さの・みのる／21世紀アジア学科／講師／経済史・東アジア国際経済
●経営学部　部長
福永　晶彦＝ふくなが・あきひこ／経営学科／教授／生産管理・日本経営史
豊田　寿行＝とよた・としゆき／経営学科／准教授／経営工学
小林　崇秀＝こばやし・たかひで／経営学科／准教授／経営戦略
顔　菊馨＝いぇん・じゅうしん／経営学科／助教／企業金融・ファイナンス
●防災・救急救助総合研究所　副所長
中林　啓修＝なかばやし・ひろのぶ／准教授／危機管理・防災
浅倉　大地＝あさくら・だいち／助教／防災・減災・野外教育
嶺村　拓也＝みねむら・たくや／理事長室広報課
丸山　政駿＝まるやま・まさとし／財務部経理課
岩見　滉一＝いわみ・こういち／財務部管財課
井上　貴裕＝いのうえ・たかひろ／教務部教務課
笠原　亜由美＝かさはら・あゆみ／教務部教務課
藤田　俊輝＝ふじた・としき／教務部学術研究支援課
大友　凌介＝おおとも・りょうすけ／学生部学生・厚生課
宮島　夏美＝みやじま・なつみ／キャリア形成支援センターキャリア支援課
角田　凌＝つのだ・りょう／21世紀アジア学部事務課
吉田　昭彦＝よしだ・あきひこ／図書館・情報メディアセンター情報システム課
金井　美保子＝かない・みほこ／健康管理室
美馬　舞子＝みま・まいこ／健康管理室



●理事長　大澤　英雄
●理　事　佐藤　圭一／飯田　昭夫／横沢　民男／福本　正幸／岡林　中今／石田　唱司／島崎　修次／瀬野　隆／間瀬　誠吾／山田　慎吾／足立　禮一／今福　康夫／佐藤　圭一／岩渕　公一／飯田　昭夫／表　きよし／二川　佳央／長谷川　均／村岡　幸彦／横沢　民男／大谷　茂／作田　英一／福本　正幸／美納　淳一／岡林　中今／加藤　純一／小泉　興七／谷岡　三男／脇本　三千雄／小山　泰文／坂本　廣身／島崎　修次／瀬野　隆／矢野　博志／山田　慎吾
●監　事
●評議員

学校法人国士舘 役員・評議員一覧

（4月1日現在）

佐藤圭一 学長が再任

「教育改革」完成へ所信表明

6つの柱で時代に即応

昨年11月27日の理事会で佐藤圭一学長の再任が決議され、4月1日付で委嘱・発令された。任期は令和2年4月1日から同5年3月31日までの3年間。

佐藤学長は再任にあたり「建学の精神を具現化する国士舘独自カリキュラムの再編」「考え、創造し、結論を出す課題解決型人材を養成する教養教育の再編」「既存の防災教育に加えて、総合大学としての利点を活かした学際的防災研究の構築」「複数学位取得制度の導入などを含む海外協定校・機関との連携の活性化、ならびに学生の留学意欲促進のための語学教育の再編」「地域社会活性化のための協力体制の強化および住民の安心・安全意識向上のための国士舘独自プログラムの提供」「キャンパス全面禁煙に向けた意識改革の徹底と医療連携の強化」の6つを掲げ、教育改革事業の完成と時代に即応する本学教育の形成を目指す。

佐藤圭一（さとう・けいいち）政経学部教授。
昭和54年国士舘大学政経学部卒業、同59年同大学大学院政治学研究科政治学専攻博士課程修了。平成18年政治学博士（国士舘大学）。昭和30年9月生まれ、64歳。青森県出身。専門はアメリカ政治史。
昭和59年本学に入職。平成14年政経学部二部教授、同15年政経学部教授、同24年大学院政治学研究科長。同27年本学学長、学校法人国士舘理事、同評議員。学長任期中は同27年から武道・徳育研究所長、同30年から大学院経営学研究科長、令和2年から経営学部長を兼務。
そのほか、比較憲法学会理事。田上穣治賞（比較憲法学会）受賞。

北久美子氏の遺作 受贈

本学はこのほど、画家・北久美子氏（故人）の大作『光る風』（2012年作・油彩）を遺族の好意により受贈した。本作は、世田谷キャンパスのメイプルセンチュリーホールのエントランスに展示されている。
北氏は、具象絵画の最高峰である安井賞受賞など画壇で高い評価を受ける画家。本作を取り扱った画廊・楽（横浜）からの「学生の感性に働きかけ、情操育成に寄与できれば」という申し出から受贈に至った。
絵画制作などが専門の本学文学部の松田俊哉教授は、北氏の作品について「伝統的な障壁画の視点を用いた油彩による象徴表現。美しい画面は北先生のお人柄を彷彿とさせる」と話し、また大澤英雄理事長は「心と体の健康を育む施設の入り口で出迎えるに相応しい素晴らしい作品」と話し、感謝の意を表した。

絵画とともに撮影する松田教授（左）と大澤理事長

スポーツ施設整備 着々と進行

国士舘楓の杜キャンパス

公認サッカー場に

国士舘楓の杜キャンパスのグラウンド空撮（令和2年3月撮影）

平成30年10月に着工した「国士舘楓の杜キャンパス」（東京都町田市野津田町）のグラウンド工事が今年6月の完成に向けて急ピッチで進んでいる。
竣工は当初、1月を予定していたが、安全面への考慮から工期が延長された。
グラウンドは、JFA（日本サッカー協会）公認の施設にする予定で、現在は切土や盛土をメーンとする第一計画（造成工事）が完了し、今後は人工芝敷設や約400人収容のスタンド建設などの第二計画（建築工事）が控えている。
このほかグラウンド横に併設のトイレ棟、平屋校舎に増設のシャワー棟、正門横の駐車場やキャンパス内の道路整備なども着々と進行している。
国士舘楓の杜キャンパスのグラウンドは、主にサッカーコートとして使用するほか、既存施設は防災教育の実習場として活用する計画が検討されている。

観客スタンド設置（奥）と人工芝が張り替えられたラグビー・アメリカンフットボール場

ラグビー・アメフト場

観客スタンド設置 人工芝も張り替え

多摩キャンパスのラグビー・アメリカンフットボール場に今年1月、約420人収容の観客スタンドが設置され、昨年8月には人工芝の張り替え工事が行われた。張り替えは、平成19年に敷設されて以来、初めて。

キャンパス用地 多摩市内に取得

防災研究の拠点に

学校法人国士舘はこのほど恵泉女学園大学南野校舎の土地・建物を取得する契約を1月28日付で締結した。取得額は、約15億6千万円。
この場所は旧都立南野高校（平成17年統合再編により廃校）の跡地で、同19年に学校法人恵泉女学園が購入した。本学多摩キャンパスから約1キロの場所に位置する。
体育館を含む既存の建物は、本学が推進する防災研究の拠点とするほか、体育学部の講義・実習、スポーツ協議会指定クラブの活動などに使用する。今後、既存建物の改修など整備を進める。
◆土地・建物の概要
所在地：東京都多摩市南野2丁目11―1
面積：土地約2万1193平方㍍、建物延べ床約1万3463平方㍍。
建物は、教室棟6棟と体育館などがある。

元学長 朝倉正昭氏逝去

本学元学長で名誉教授の朝倉正昭（あさくら・まさあき＝体育科教育学）氏が3月15日に逝去された。享年78歳。葬儀は近親者のみで営まれた。

本学新体操の興隆をけん引

朝倉氏は昭和38年本学体育学部卒業、同42年本学政経学部二部卒業。同44年本学に入職、体育学部講師、同61年教授。在職中は、学生部長、就職センター長などを歴任し、平成21年国士舘大学学長（同24年まで）、同年学校法人国士舘評議員、同理事。平成25年定年退職、同年本学名誉教授。
昭和35年に体操競技部から独立した「徒手体操部」（現在の新体操部）の指導にあたり、本学新体操の興隆をけん引した。財団法人日本体操協会副会長など数々の要職を歴任したほか、数多くの国際大会で日本新体操選手団の団長を務め、2000年のシドニーオリンピックでは監督としてチームを率いた。
北川善廣氏逝去
本学名誉教授の北川善廣（きたがわ・よしひろ＝水文学・河川工学）氏が3月19日に逝去された。享年70歳。葬儀は近親者のみで営まれた。
北川氏は昭和47年本学工学部卒業、同54年早稲田大学大学院理工学研究科後期博士課程単位取得満期退学、平成12年工学博士（早稲田大学）。昭和47年本学工学部助手、同52年同学部講師、平成7年同教授。
土木学会の各種委員・幹事などを歴任したほか、世田谷区の小学生らを対象に地元河川で遊びながら学ぶ活動に取り組み、地域に与える川の恵みや防災の啓蒙に尽力した。

竹村英二教授逝去

21世紀アジア学部の竹村英二（たけむら・えいじ＝経営理念史）教授が、2月15日に逝去された。享年57歳。葬儀は近親者のみで営まれた。
竹村教授は、平成7年ロンドン大学東洋アフリカ研究学院修了。史学博士（東洋大学）。同14年、本学21世紀アジア学部創設時に入職し、同19年教授。学問分野横断型のカリキュラムを掲げ既存の概念とは異なる同学部の発展を支えた。
著書に『江戸後期儒者のフィロロギー原典批判の諸相とその国際比較』『幕末期武士／士族の思想と行為―武人性と儒学の相生的素養とその転回』などがある。
北川善廣氏逝去
本学名誉教授の北川善廣（きたがわ・よしひろ＝水文学・河川工学）氏が3月19日に逝去された。享年70歳。葬儀は近親者のみで営まれた。
北川氏は昭和47年本学工学部卒業、同54年早稲田大学大学院理工学研究科後期博士課程単位取得満期退学、平成12年工学博士（早稲田大学）。昭和47年本学工学部助手、同52年同学部講師、平成7年同教授。
土木学会の各種委員・幹事などを歴任したほか、世田谷区の小学生らを対象に地元河川で遊びながら学ぶ活動に取り組み、地域に与える川の恵みや防災の啓蒙に尽力した。